

「指先遊び楽しいな！」(1歳児)

反射的に握ることしかできなかった新生児期から、手を使って遊びだす乳児期そして1歳半を過ぎる頃には、指先を使ってモノをつまんだり、手首を動かしてたたいたり、ひねったりと、手の成長とともに遊びの世界も広がっていきます。



シール貼り

始めた頃は、指先にシールがくっつきぺたっという感触を感じて「あれっ？」と、興味を持ち何度も自分の親指と人差し指をしきりに動かして貼ろうとしていました。シールは貼るだけでなく、はがすことも子どもたちにとっては楽しい遊びになります。今では自分が貼りたいと思ったところ(枠の中など)に貼って遊ぶことも楽しんでいきます。



せんたくばさみ遊び

動物の顔や体の台紙を持ちながら、狙った箇所にはせんたくばさみをはさみ、遊んでいます。遊んでいるうちに立つことに気づき、「たった！」と保育士の顔を見て嬉しそうに伝え、もうひとつ作り始めました。また、せんたくばさみのいろいろな場所に何個もつなげていき「わんわん」「ひこうき、ぱたぱた」と見立てて遊ぶ姿も見られます。

